

第3期 小野地区 地域福祉活動計画

心響きあう♡与力の里



令和3年2月
小野地区社会福祉協議会

地域福祉活動計画の策定にあたって

現在の地に小野地区社会福祉協議会の事務所を移設し、同時に「ふれあいサロン小野」を開設し早くも16周年を迎えることが出来ました。16年もの間、皆様のご利用をいただけたのも、諸先輩方の変わらぬ活動理念のおかげと感謝をしております。

第3期地域福祉活動計画にあたり、松山市社会福祉協議会様の「このまちのえがおプラン」との連携を考えながら、小野地区社会福祉協議会の長い歴史と実績を考慮し策定しました。

基本理念の「心響きあう♥与力の里」を掲げ、①地区社協の基盤整備②生きがい在宅福祉の充実③福祉ネットワークの充実④福祉学習と活動の充実の4項目の活動計画に分類し、各取り組み事項には、中心となる監事部会を決めるとともに、機会ある毎に評価を行い、「活動計画の見える化」を図り、小野地区社会福祉協議会らしい活動計画となりました。

小野地区社会福祉協議会が中心となり、子供からお年寄りまで地区住民主体の地域福祉活動を計画的に推進し、「心響きあう♥与力の里」となるよう努めてまいります。この地域福祉活動計画の実現に小野地区の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地域福祉活動計画策定にあたっては、小野地区社会福祉協議会内の各種データ分析、また活動の方向性を決める事項や、各種アンケートでは、愛媛大学看護学科様の調査結果を参考とさせていただきました。また計画策定にご尽力を頂きました松山市社会福祉協議会の皆様及び、策定委員の皆様には、心よりお礼を申し上げます。

令和 3年 2月
小野地区社会福祉協議会
会 長 青木 良一

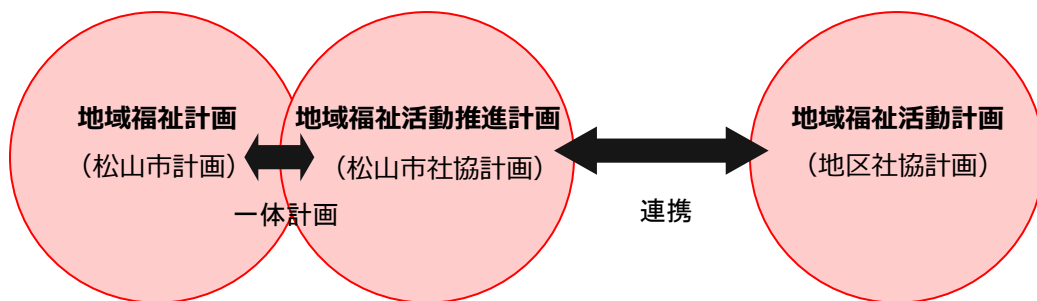
目 次

●松山市における地域福祉に関する計画の連携と比較	P1
●小野地区の紹介	P2
●小野地区社協活動状況	P3
●小野地区社会福祉協議会組織図	P4
●小野地区社会福祉協議会活動状況	P5
●ふれあいサロン小野活動状況	P7
●小野地区社協の現状分析(アンケート結果)	P9
●小野地区地域福祉活動計画策定委員会	P14
●小野地区地域福祉活動計画策定委員会開催状況	P15
●小野地区地域福祉活動計画(5ヶ年計画)	P16

松山市における地域福祉に関する計画の連携と比較

地域福祉の推進を図るためには、下記の計画が内容を一部共有したり、策定過程を共有する等、相互に連携し一体となって進めることが重要であり、互いに補完・補強しあう関係にあります。

【イメージ図】



【地域福祉に関する計画の比較】

計 画	地域福祉計画・地域福祉活動推進計画 (このまちのえがおプラン)	地域福祉活動計画
策定主体	松山市・松山市社協	小野地区社協
対象地域	松山市内	地区内
実施期間	5年	5年
基本目標 (基本理念)	みんなが つながる 支える まちづくり	心響きあう♥与力の里
計画の特徴	<p>目標1 支えあいの心を育む</p> <p>目標2 みんながつながり参加できる環境づくり</p> <p>目標3 丸ごと支援のしくみづくり</p> <p>目標4 福祉サービスの健全な発達と適切な利用促進</p> <p>以上の4項目を個別目標に掲げ、住民一人ひとりや住民組織、ボランティアグループ、NPO等の関係団体、学校、事業所等、地域の多様な主体がそれぞれの役割を担いながら、互いにつながり、支えあうことで、“誰もが暮らし続けたい”と思えるまちづくりを目指します。</p>	<p>【第3期計画】</p> <p>① 地区社協の基盤整備 ② 生きがい在宅福祉の充実 ③ 福祉ネットワークの充実 ④ 福祉学習と活動の充実</p> <p>の4項目を基本とし、地域性を生かした事業を計画的に展開する。 地区社協が中核となって、住民の主体的参加を基本とした地域福祉活動をより積極的に進めるとともに、地区社協の基盤強化を図る。</p>

小野地区の紹介

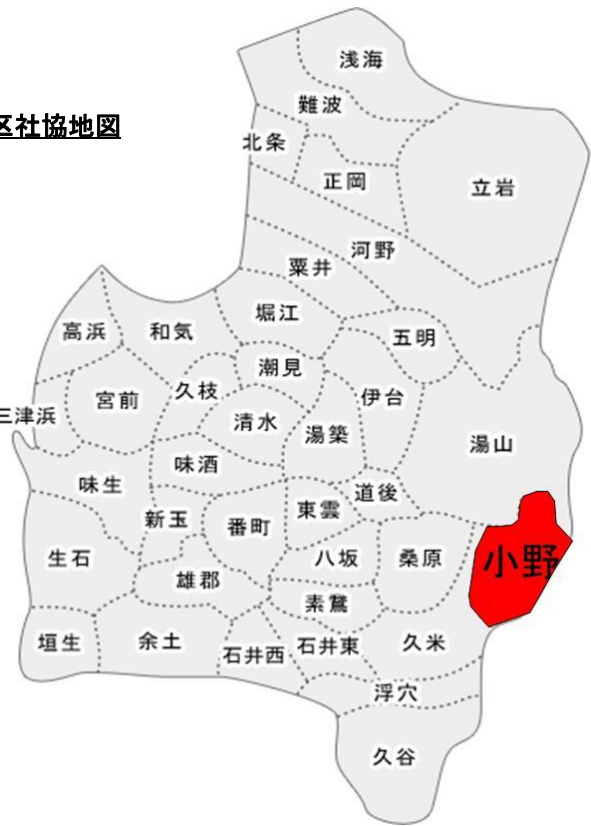
(地域カルテより)

松山市の最東部に位置し、小野町、北梅本町、南梅本町、平井町、水成町の5町から構成され、伊予鉄道横河原線沿線という好条件と病院や商業施設が備わった地域でありながら都会らしくなく、そして程よい田園風景の残る地区で、近年急激に人口が増加している。

1公民館、1小学校、1中学校の地域性から住民同士の連帯感が強く、義理と人情がまだまだ残っている地域である。

面積：26.5 km²
 人口：17,453 人
 世帯数：7,909 世帯
 高齢化率：30.7 %

松山市地区社協地図



南梅本町より西方方向



地域住民から見た地域の現状

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいサロン小野(月～金の毎日型) ・公民館や小野支所などが社協に協力的 ・サロン農園があり、近所の方が協力的 ・サロンに各団体が集まり人材確保が容易 ・自然豊か ・包括支援センターによる出張相談 ・犯罪が少ない ・災害が少ない ・小学校からそのままのメンバー(生徒)で中学校に上がる ・地域全体で子供の見守り、健全育成 ・子供の挨拶が立派 ・地域の団結力 ・スポーツに熱心 ・地域役員の連携が密
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン活動で若い人が少ない(協力会員も高齢化している) ・小野サロンの立地が地区の中心でない ・小野サロンの施設の劣化 ・道路、通学路が狭い ・高齢化率30% ・高齢者の交通不便 ・企業が少ない ・飲食店が少ない ・農業に従事する人が少ない ・スポーツ施設が少ない ・バスの廃線(小野谷) ・災害の不安(山地部) ・行事のお世話人さんなど後継者不足
地域が抱える福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が年々高くなっている ・独居高齢者(特に男性高齢者)増加傾向 ・若い人、男性の福祉に対する関心が薄い ・認知症の人が増えている ・自力で移動できない人の増加 ・若い女性は勤めに出ているため活動に参加できない ・入院できる病院が少ない ・健康のため高齢者によるボランティア活動への参加促進 ・避難準備情報が出ても行動しない人が多い ・コミュニティバスの配備希望

小野地区社協活動状況

(地域カルテより)

小野地区社会福祉協議会

心響きあう♥与力の里

<拠点> 松山市水泥町 972-1

TEL / FAX : 089-976-1200

構成団体	地区民協・公民館・分館・PTA・中学校・小学校・学識経験者 身体障がい者協会・平井商店会・社会福祉法人	
主な取り組み	活動内容	
福祉だよりの発行	年に2回 12,000部を作成・全戸配布し、地域活動のPRや福祉に関する情報を発信しています。	
福祉のつどい	毎年4月に福祉施設と合同でミニ運動会を開催します。会場の小学校の体育館には約300人の地域住民(サロン参加者・幼稚園児)が集います。	
福祉講座の開催	年1回、高齢者の身体や認知症など、生活に関する身近なテーマでの開催を目標として実施しています。	

ふれあいサロン小野 (月～金の週5回)

平井商店街の一角に地区社協の拠点でもある毎日型のふれあいサロン小野があります。常時、協力会員がおり、プロから講習を受けたコーヒーの提供や月曜日限定の手作りカレーの販売などもあり、地域住民が気軽に集える場となっています。介護予防体操や手芸、囲碁や将棋も楽しめます。



<地区社協が目指すもの>

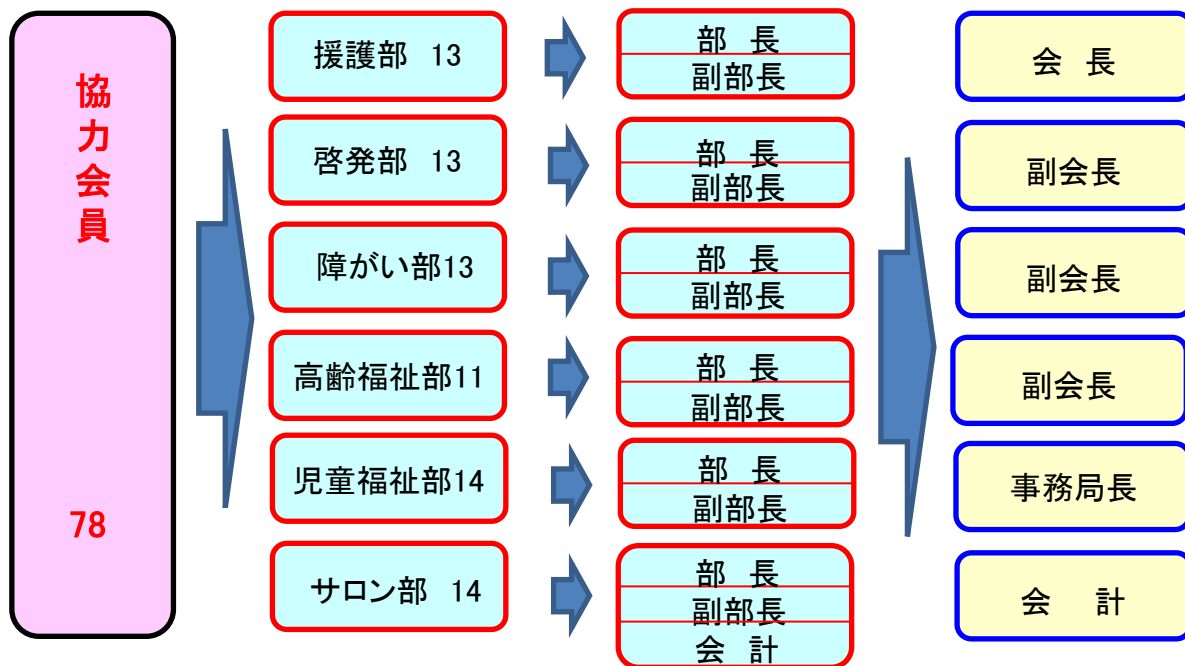
小野地区では地域の住民が気軽に集える憩いの場を作ることとを目的とし、平成16年に平井商店街の空き店舗を活用して地区社協の事務所とサロンを開設、平日(月～金)週5日運営を行っています。

「心響きあう♥与力の里」を基本理念に、地域の各種団体や施設等と連携しながら、地域住民が安心して住みよい、住んで良かったと感じる地域を目指し、今後の高齢社会に向け若い世代の活動拡大を目指します。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	24名 2名	■町内会・自治会・区長会等	21団体
	■まち協の設立	—	■高齢クラブ ■子ども会 ■自主防災組織	5クラブ 15団体 17組織

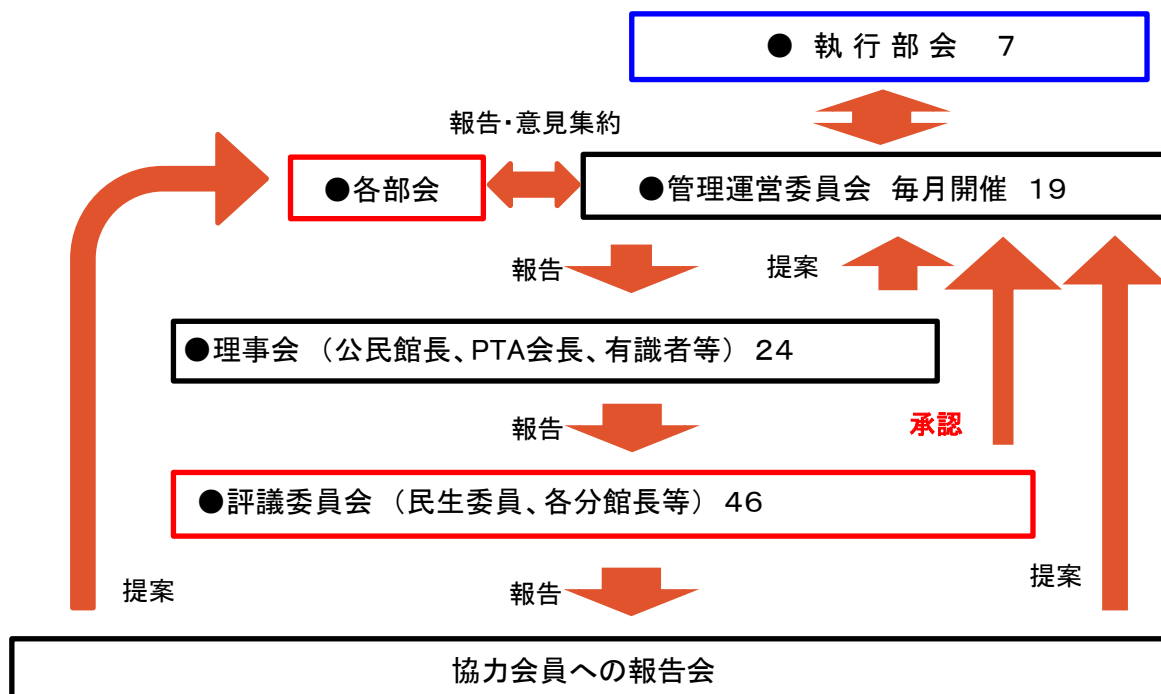
小野地区社会福祉協議会 組織図

R02. 4現在
図内の数値は人数



各種会議 関連図(PDCA)

図内の数値は人数



小野地区社会福祉協議会 活動状況

①小野福祉の集い： 4月実施 (幼稚園、各サロン、幼稚園と介護施設参加のミニ運動会)



②平井商店会(街)夜市への協賛: 7月~8月



③小野地区体育祭への参加: 10月



④福祉講座: 10月



⑤地区文化祭への参加:11月

※21分館の協力を得て、余剰品を提供いただきます。



余剰品整理と値つけ



小野公民館にて余剰品販売



青少年健全育成大会



売上金は、青少年健全育成事業等に活用されます。

⑥季節の遊び教室:毎月1回土曜日

(小学生と高齢者のふれあい)



⑦その他:

豆記者(子供たち)の取材を受けました



ふれあいサロン小野 活動状況

ふれあいサロン小野は令和3年12月23日に16周年を迎えることが出来ました。多くの利用者の皆様と協力会員の皆様のおかげです。

以下の、活動状況については、サロン小野の特徴的な事項について紹介させていただきます。

①サロンのはじめ

「小野サロン」のめざすもの

- ①誰もが気軽に立ち寄り、楽しくホッとくつろげる場づくりを目指します。
- ②寂しいとき、不安なとき、話し相手が欲しいとき、寄り添ってくれる家族のような温かい雰囲気の場を目指します。
- ③健康づくり、生きがいづくりの場を目指します。
- ④特技を生かし、お互いに学び合い、世代交流の出来る場を目指します。
- ⑤広い心で出合いを喜べる、仲間づくりを目指します。



その日の当番が
毎朝唱和し、
活動は
はじめます

②当番表の作成と掲示

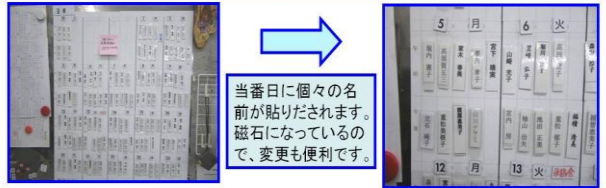
翌月の当番表の作成について

援護部長を中心に、援護部のローテーション係が協議を行い決定します。

毎月のローテーション会議開催の前日までに、各希望を提出してもらいます。

希望をできるだけ反映させ、当番日を決定します。

決定後、当番を変更する場合は、個々に調整し交代します。



当番日に個々の名前が貼りがされます。磁石になっているので、変更も便利です。

開所当初は紙に書いて調整していましたが、すべての会員の希望を反映させることは難しく、調整に夜中までかかることもありました。現在も可能な限り希望を反映できるよう努力しています。

③サロンの行事周知

くらしのカレンダー小野 (愛媛新聞エリアサービス平井店の協力)



椅子ヨガ(午前)(ふれあいサロン)
サロンひまわり
ストレッチ・園芸情報(午前)(ふれあいサロン)
牛乳パック椅子・手芸・くらしの書・パソコン(午前)(ふれあいサロン)
コーラス(午前)(ふれあいサロン)
エコクラフト(午前)(ふれあいサロン)
おはなし会、図書貸出(小野公民館) 季節の遊び教室(午前)(ふれあいサロン) サロンなのはな

新聞の折り込みちらして
毎月行事予定配布

④小野地区いきいきサロンの状況

(R2.12現在)

サロン名	活動拠点	登録者数
サロンおおの	大野分館	33名
サロンなのはな	五楽自治会 集会所	14名
サロンひまわり会	上苺屋分館	25名
サロンひらい	平井分館	26名
こだまの会	南梅本団地 集会所	51名
サロンみどろ	水泥分館	37名

⑤喫茶と軽食 (喫茶:まりも)

コーヒー ¥200



自慢のカレー限定販売(月曜日のみ)
サラダ付き ¥250



ふれあいサロン小野 サークル状況

①曜日別サークル活動表

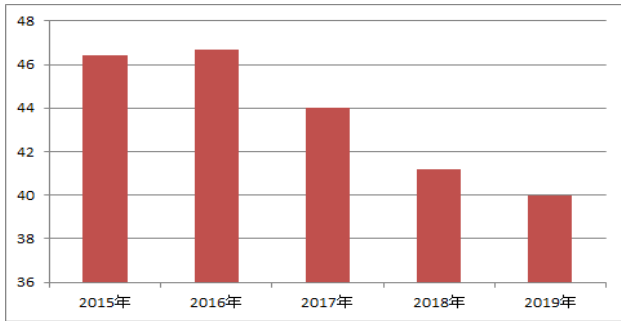
日	月	火	水	木	金	土
休み	ストレッチ 囲碁将棋	牛乳パック 椅子 手芸 くらしの書 パソコン	童謡	コーラス	椅子でヨガ エコクラフト	季節の遊び教室 (月1回)
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> 包括支援センター 出張相談 民生委員相談日 (月1回 曜日変動) </div>						

②サークル活動状況



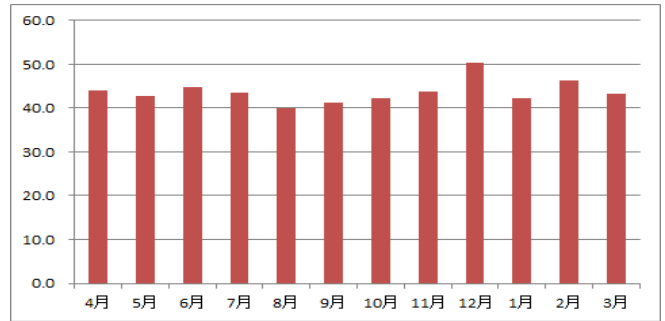
小野地区社会福祉協議会の現状分析

サロン利用者数の推移(1日平均) n=過去5年間



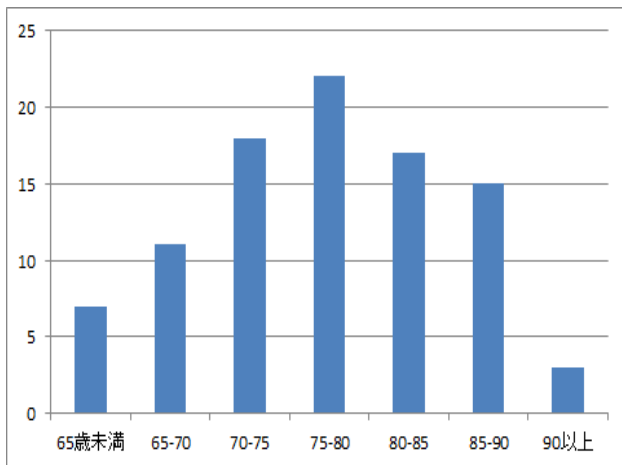
- サロン利用者の過去5年間の 1日平均データ
- ・年々減少傾向にあり、4年前と比べると6名程度減少

サロン利用者数の月別変動 n=過去5年間



- サロン利用者の過去5年間の月別平均データ
- ・12月期の利用者数は、サロン記念日(12/22)が平均をあげているか?
- ・季節による変動は見えない

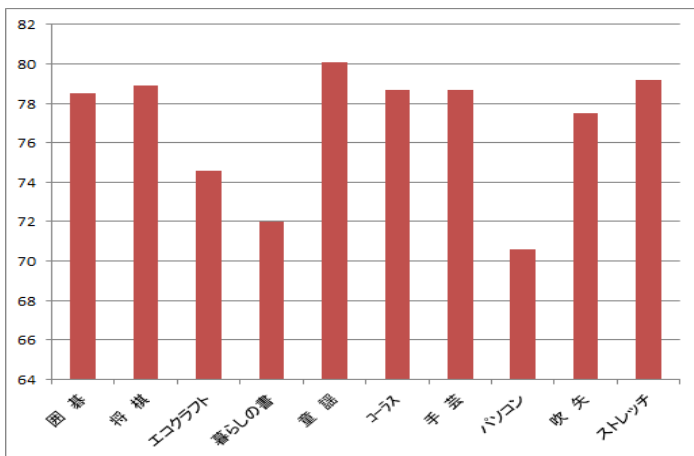
サロン利用者の年齢分布 (19.12愛大データ) n=93



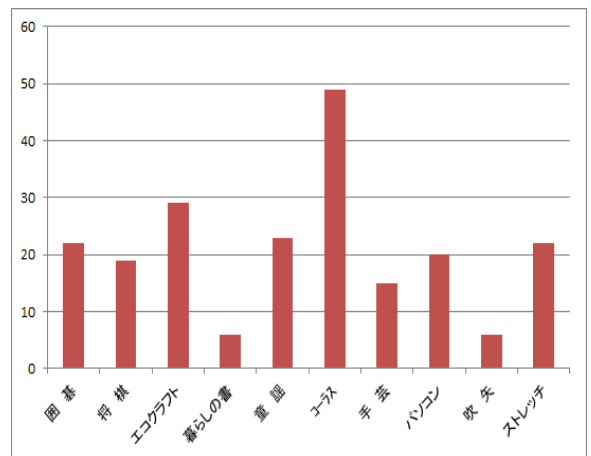
- サロン利用者の平均年齢データ (19年12月 愛大調査データ)
- ・70歳から90歳までの利用者が多い

- 若い世代の利用者拡大が必要**
- ・若い人向けサークルの新規開設検討
 - ・子育て世代向けメニューの提供

サークル別の平均年齢 n=211

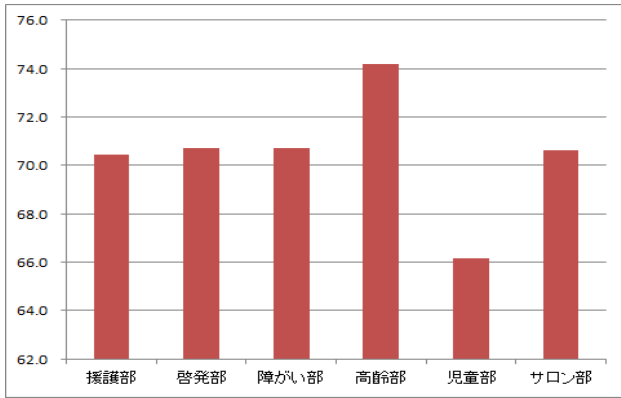


サークル別の構成人数 n=211



社協組織の平均年齢

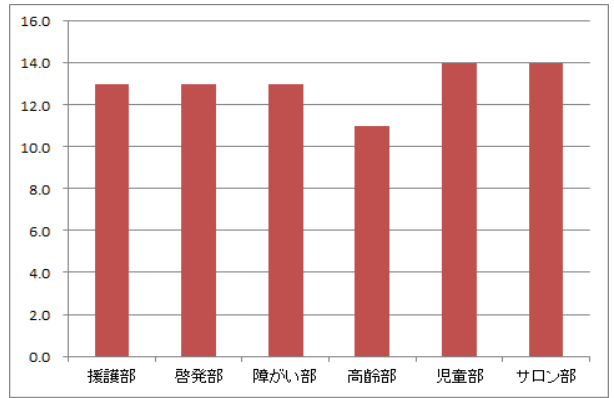
n=79



- 社協6部会の平均年齢
- ・高齢部の高齢化解消が重要

社協組織の構成人員

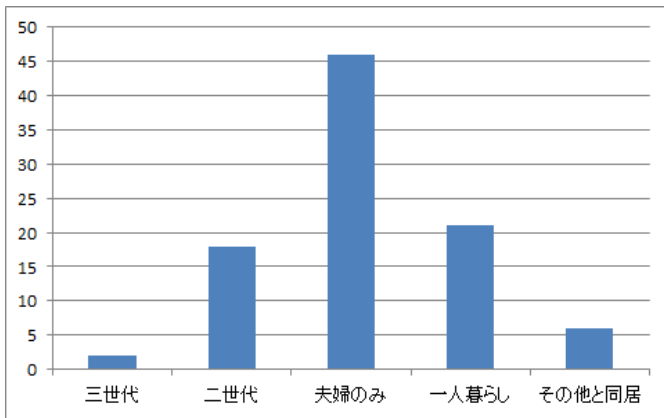
n=79



- 社協6部会構成人数
- ・当資料では判明しませんが、昨年15名程度で構成されていたが、構成員9名程度減少
- ・協会の拡大が必要

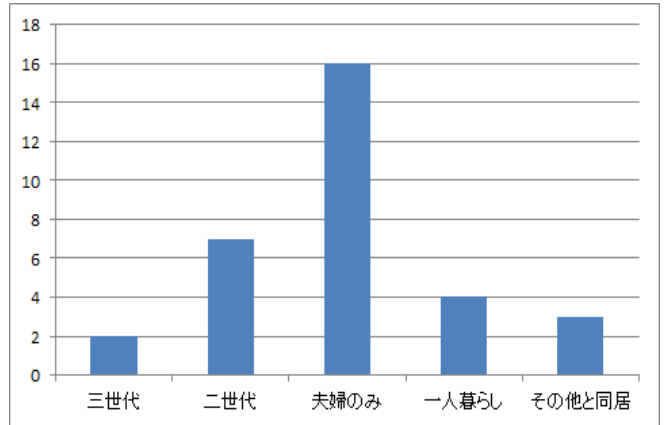
サロン利用者の家族構成

n=93



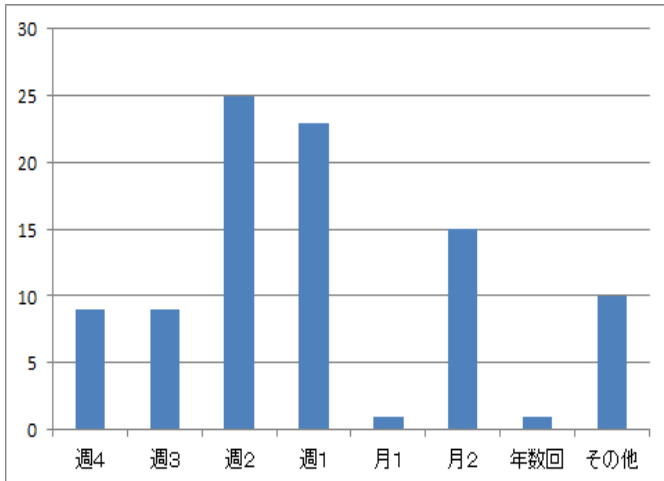
協会会員の家族構成

n=32



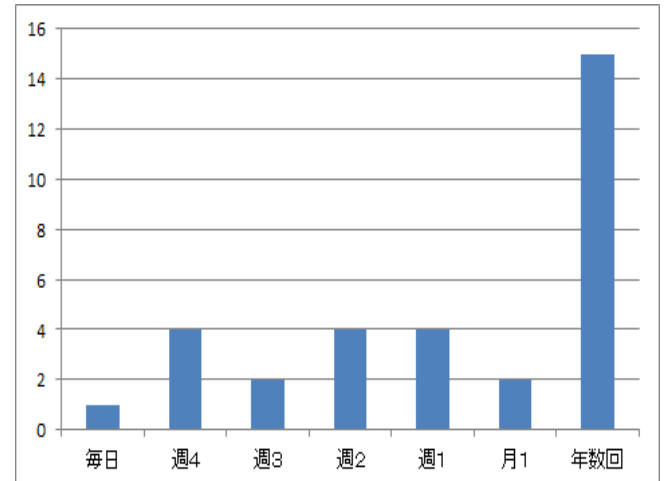
サロン利用者の参加回数

n=93



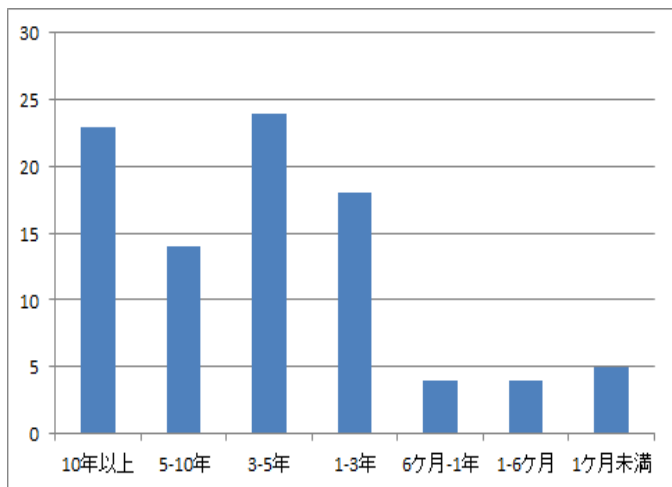
協会会員の利用回数

n=32



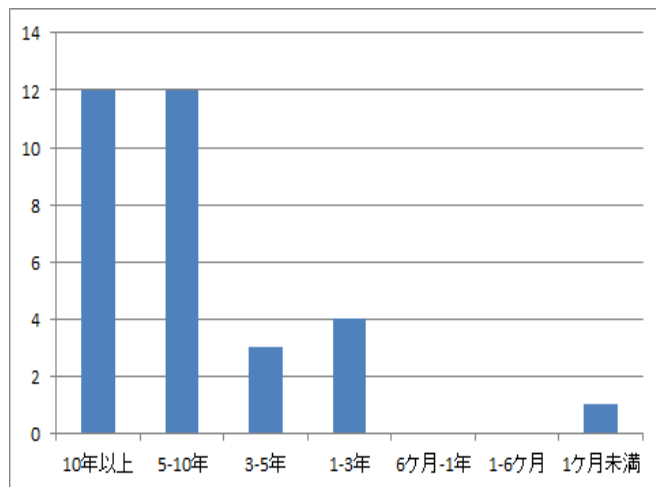
サロン利用者の利用年数

n=92



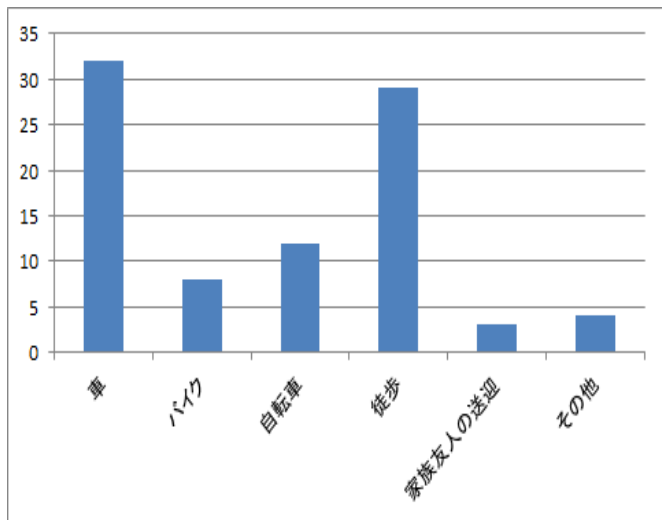
協力会員の利用年数

n=32



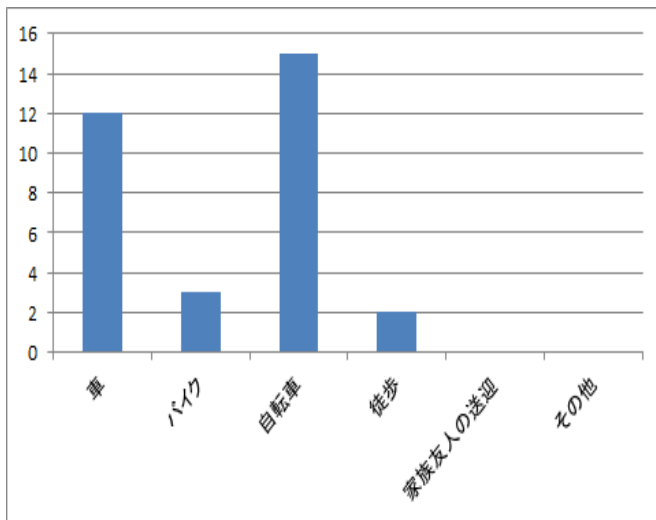
サロン利用者の交通手段

n=88



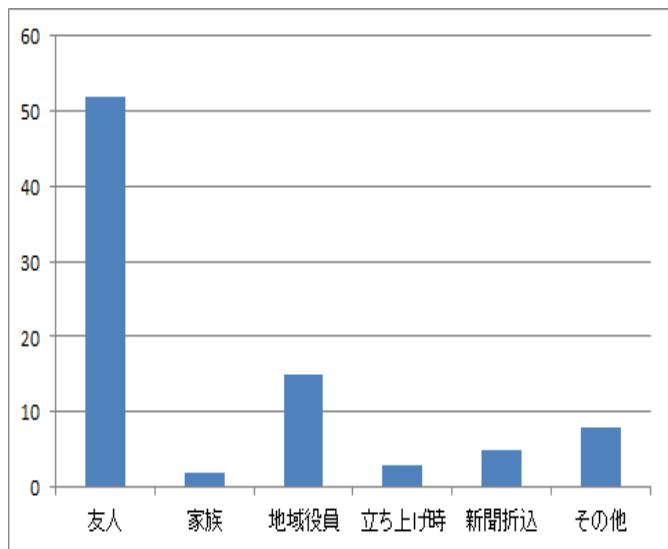
協力会員の交通手段

n=32



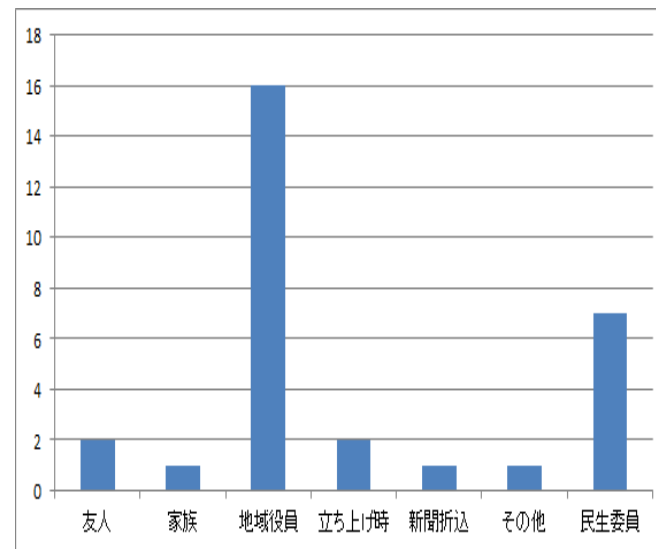
利用者のサロンを知ったきっかけ

n=65



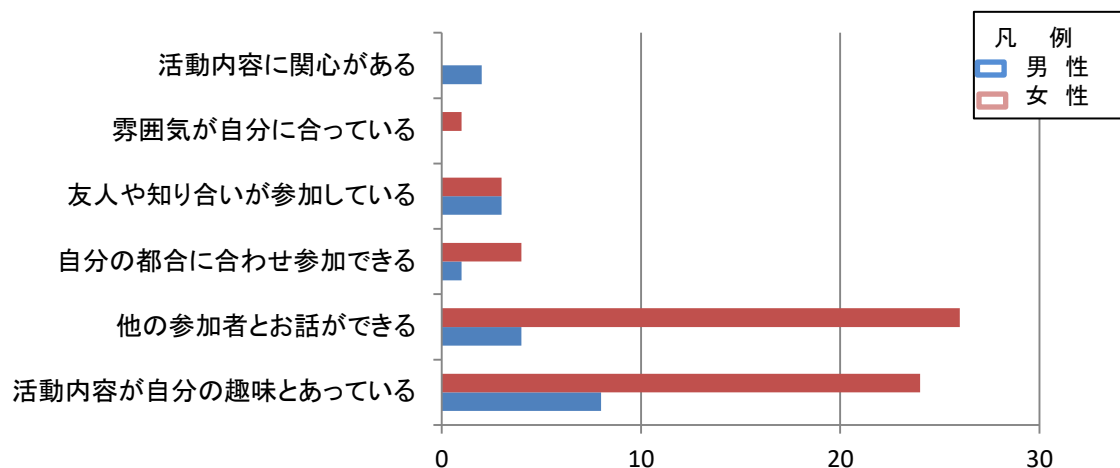
協力会員のサロンを知ったきっかけ

n=30



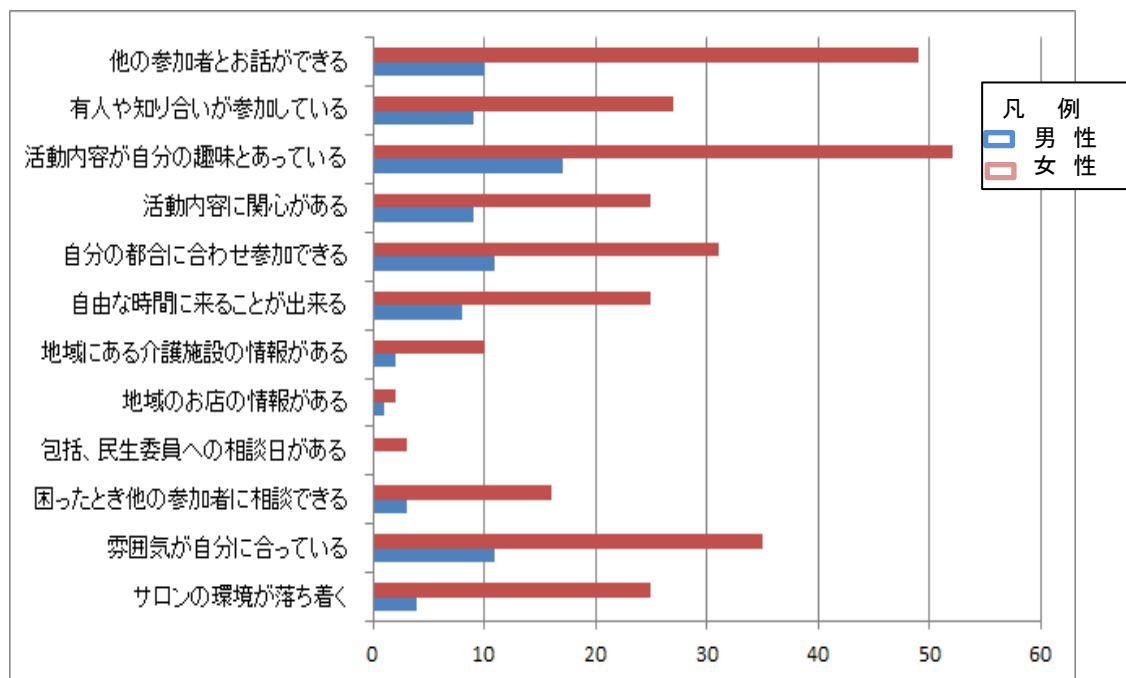
利用者のサロン参加理由 個別選択

n=男性:18 女性:59



利用者のサロン参加理由 複数選択

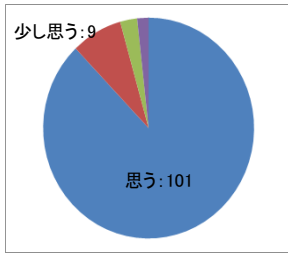
n=男性:85 女性:300



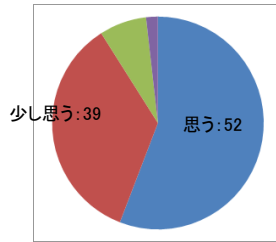
サロンへの思い

(19.12 愛大調査データ)

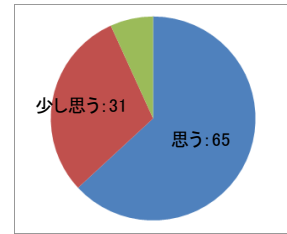
楽しいと感じる n=115



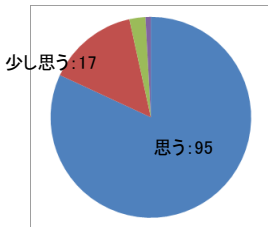
やりがいを感じる n=111



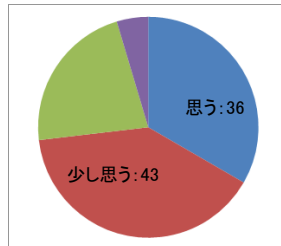
満足感を得られる n=100



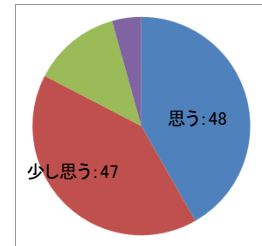
人とのつながりを感じる n=116



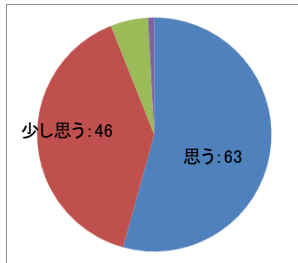
人の役に立っている n=106



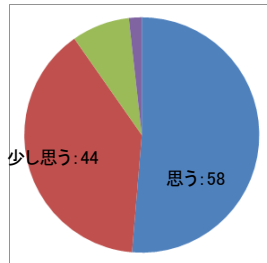
地域活動に関心を持った n=116



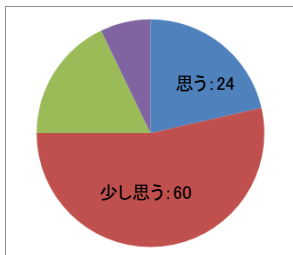
友人が増えた n=116



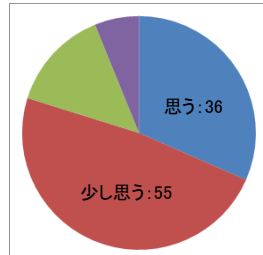
趣味の仲間が増えた n=113



教養が身についた n=112



健康情報を得られた n=114



サロンを利用し、趣味を通じて、人とのつながりや、友人が増え「やりがい」や「満足感」が生まれているようである。

おしゃべりの中で、健康関連情報や、多面的な教養情報も得られているようです。サロンの特徴が出ており、今後も「参加して楽しい」サロンであることが重要

第3期 小野地区地域福祉活動計画策定委員会名簿

役 職	氏 名	備 考
委員長	青木 良一	小野地区社会福祉協議会 会長
委 員	袖山 治夫	小野地区社会福祉協議会 副会長 小野地区民生児童委員協議会 会長
委 員	宮内 順三	小野地区社会福祉協議会 副会長 北梅本町 区長
委 員	重松 郁子	小野地区社会福祉協議会 副会長
委 員	渡部 ゆかり	小野地区社会福祉協議会 事務局長
委 員	上田 啓子	小野地区社会福祉協議会 会 計 独居高齢者みまもり員
委 員	佐々木美沙子	小野地区社会福祉協議会 小野サロン会計
委 員	一色 美咲枝	小野地区社会福祉協議会 援護部長
委 員	重松 京子	小野地区社会福祉協議会 援護部副部長
委 員	藤岡 真須雄	小野地区社会福祉協議会 啓発部長 民生児童委員
委 員	山川 ナヲミ	小野地区社会福祉協議会 啓発部副部長 民生児童委員
委 員	境 建夫	小野地区社会福祉協議会 障がい部長 民生児童委員
委 員	宮城 正朝	小野地区社会福祉協議会 障がい部副部長 民生児童委員
委 員	堀内 憲子	小野地区社会福祉協議会 高齢部長 日赤奉仕団 小野分団 分団長
委 員	平良 晴美	小野地区社会福祉協議会 高齢部副部長
委 員	仙波 修	小野地区社会福祉協議会 児童部長 主任児童委員、小野地区自主防災組織連合会会長
委 員	奥 裕美子	小野地区社会福祉協議会 児童部副部長 主任児童委員
委 員	栗田 孝子	小野地区社会福祉協議会 サロン部長
委 員	谷田 ゆき	小野地区社会福祉協議会 サロン部副部長

敬称略（令和2年6月現在）

第3期 小野地区地域福祉活動計画策定委員会の開催状況

回	開催日	開催場所	策定内容
第1回	令和2年 11月26日	ふれあい サロン小野	地域福祉活動計画について 今後の活動の進め方 策定委員の選出
第2回	令和2年 12月14日		地域福祉活動計画検討 今後の活動の進め方 活動状況紹介の検討
第3回	令和2年 12月24日		地域福祉活動計画検討 活動計画書の内容検討
第4回	令和3年 1月25日		地域福祉活動計画検討 活動状況紹介の検討
第5回	令和3年 2月5日		地域福祉活動計画修正 活動状況紹介の修正 (掲載内容・写真)
第6回	令和3年 2月24日		地域福祉活動計画確認 巻末、問合せ先地区社協 記載変更

基本計画	基本目標	監事部会	実施目標	実施活動(具体的内容)	5ヶ年計画						
					年度 成果	2	3	4	5	6	
地区社協の基盤整備	管理運営委員会の充実	管理運営委員会	各部会活動の啓発、活性化、毎月開催 (援護部・啓発部・高齢福祉部 児童福祉部・障がい福祉部 サロン部)	各部 部会を年4回以上開く	評価						
				管理運営委員会の決定事項は必ず部員に周知徹底する	評価						
				各部会及び部員からの意見集約	評価						
	広報活動の促進	啓発部会	福祉だよりの充実	年2回発行の持続	評価						
				地域に根差した内容の充実	評価						
				地域活動に積極的に参加し、啓発に努める	評価						
	組織体制の整備	管理運営委員会	理事会・評議委員会・報告会等の適正な運営	定期的な理事会・評議委員会の開催	評価						
				協力会員報告会への参加促進	評価						
				協力会員後継者の確保と養成	新協力会員の増員並びに育成	評価					
				財政基盤の確立	共同募金・寄付金の拡充	地域への積極的な募金の呼掛け(募金箱の設置など)	評価				
地区社協賛助会員の募集	賛助会員(団体・個人)の募集	評価									
在宅福祉生きがい福祉の充実	ふれあいいきいきサロンの拡充	管理運営委員会	ふれあいサロン小野を拠点とした地域全体へのサロンの開設と支援	各地区(分館等)へのサロン開設	評価						
				全地域への啓発	評価						
				新規サロンに対して協力会員の拡充	評価						
				サロンを継続し存続させるための財政基盤の確立	賛助会員の募集	評価					
					サロン喫茶の充実	評価					
				ふれあいサロン小野の充実	協力会員の確保	評価					
	サロン行事新メニューの考案・充実	評価									
	福祉サービスの向上・充実	管理運営委員会	協力会員の活性化	協力会員の研修	評価						
				サロン利用者へのサービスの充実、メニューの拡充	評価						
				高齢者への支援	高齢者への訪問	評価					
サロン利用高齢者へのサービスの向上・支援	評価										
高齢者夫婦への弁当配布	評価										
障がい者支援体制の構築	管理運営委員会	軽スポーツ普及と参加促進	軽スポーツ普及	評価							
			地域に居住している障がい者への支援、行事への参加促進	「あゆみ会」への支援・協力	評価						
「あゆみ会」の行事参加	評価										

小野地区地域福祉活動計画 2 (基本理念:心響きあう♥与力の里)

20.12.25

基本計画	基本目標	監事部会	実施目標	実施活動(具体的内容)	5ヶ年計画						
					年度 成果	2	3	4	5	6	
福祉ネットワークの充実	公民館との連携	管理運営委員会	連携体制の継続 (体育祭・文化祭等)	公民館活動への参加・協力	評価						
	民生・児童委員協議会との連携		連携体制の継続	地域福祉サービス事業 (ちくたく)の充実	評価						
				高齢者の情報交換・支援	評価						
	青少年育成団体との連携		連携強化	連携強化	青少年健全育成への支援	評価					
					子ども居場所づくりへの協力	評価					
	包括支援センターとの連携		連携強化	連携強化	包括支援センター、民協会との 情報交換	評価					
相談日の充実		評価									
自主防災組織との連携強化	災害弱者の情報の把握	災害弱者の情報の把握	災害弱者の 情報収集・提供	評価							
			災害弱者のみまもり・把握	評価							
福祉学習と活動の充実	小中学生の福祉活動の推進	小中学生の福祉活動への 交流機会の拡充と支援	小・中学生との交流を図る	評価							
			青少年健全育成大会への支援	評価							
	福祉学習事業への参加促進	県・市・その他の研修講習 会参加・視察研修	県・市福祉大会・各種講習会への 積極的参加を進める	評価							
			視察研修に積極的に参加し 見識を広める	評価							
	各種団体との連携の促進	各種団体への協賛と支援	連絡協議会、日赤奉仕団との連携 市社協(ハート)等への参加	評価							
				福祉イベントの拡充	各種施設との交流推進	評価					
福祉の集いの拡充	評価										

評価凡例: ◎:満足 ○:やや満足 △:やや不足 ×:不足

第3期小野地区地域福祉活動計画

発行：小野地区社会福祉協議会

(問い合わせ先)
小野地区社会福祉協議会

〒791-0244 松山市水泥町972-1
Tel:089-976-1200/Fax:089-976-1200

発行日：令和3年2月